

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム

いのち・つなぐ・ちから

—学生連携型地域防災拠点の構築—

事例報告会：2009年2月19日

工学院大学 プログラム担当者：佐藤光史(学長補佐)



Tokyo Urban Tech

工学院大学

- 日本最初の私立工科系教育機関(明治20年工手学校)
- 学園創立者：渡邊洪基(帝国大学初代総長)は工学倫理の提唱者
- 工学部・情報学部・グローバルエンジニアリング学部(2006年—)

「持続型社会をささえる科学技術をめざす」

新 宿 キャンパス：都心型・高層ビル
八王子キャンパス：郊外型・丘陵地



Tokyo Urban Tech

創設者・渡邊洪基と築地校舎



渡邊洪基

明治時代の国家プランナー



大正時代の築地校舎

新宿キャンパス時代へ（昭和3年移設）



新校舎竣工時の淀橋校舎（昭和36年）

教育・研究の地理的環境



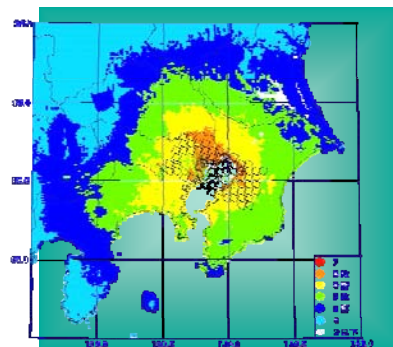
工学院大学
KING'S COLLEGE UNIVERSITY

Tokyo Urban Tech

首都圏直下地震被害推定 (内閣府資料抜粋)

30年以内の発生確率	70 %
全壊住家 (震動等)	195,000棟
全壊住家 (火災)	650,000棟
死 者 (18時)	11,000人
上水道 (1日後)	1,100万人
ガ ス (1週後)	120万軒
電 気 (直後)	160万軒
通 信 (直後)	110万軒
直接被害金額 (復旧)	67兆円
間接被害金額 (生産)	45兆円

(註) 火災は冬夕方 18 時で、風速 15m のケース



プレート間(東京湾北部)地震・M7.3の震度分布

帰宅困難者(想定時間12時): 650万人(東京都390万人)
避難者: 最大約700万人・避難所生活者460万人

工学院大学
KING'S COLLEGE UNIVERSITY

Tokyo Urban Tech

新宿キャンパス学生の安全確保



新宿駅周辺航空写真(Google map)
新宿駅利用者数:340万人/日
発災時予想滞留者数:17万人

学外への避難は危険

新宿駅周辺滞留者対策訓練



工学院大学・学生ボランティア: 500名
(2008年1月25日NHK放映)

新たな取組に直結する学生支援の現状

発災対応型防災訓練

- 新宿駅周辺滞留者対策訓練
- 防災マップ作成ワークショップ
(オリエンテーションキャンプ)
- 普通救命講習(リーダーズキャンプ)
- 総合研究所EEC(地震防災環境研究センター)
取組・防災対策へのフィードバック

工学倫理教育・環境教育・研究活動
と密接に関連付けて展開



2007年12月7日(金)
読売新聞朝刊記事

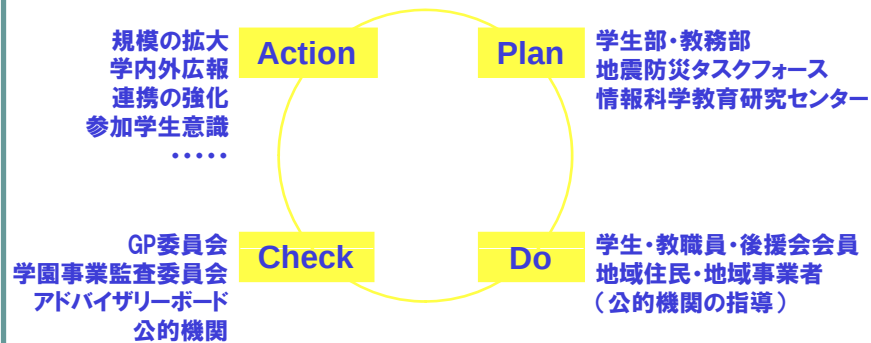
学生連携型地域防災への取組



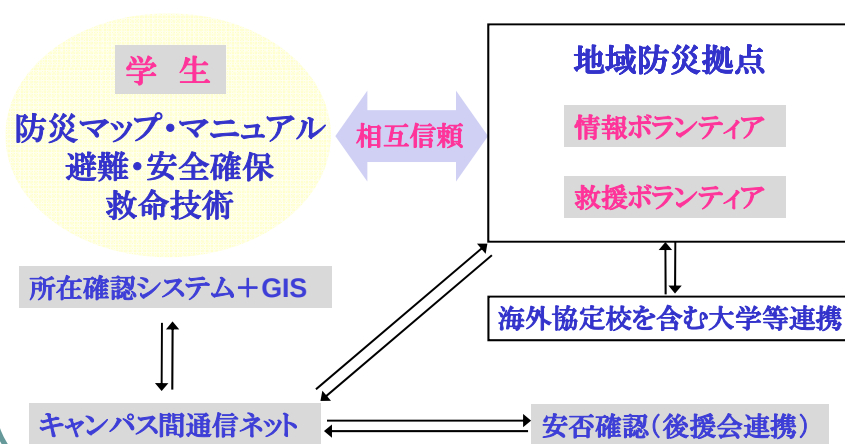
新たな取組

- 発災対応型防災訓練の拡大実施
- 新宿駅周辺滞留者対策訓練の拡大実施
- 普通救命講習拡大・防災士講習の新規実施
- 通信ハード・ソフトの整備(後援会連携)
- 防災関連授業の充実
- 防災マップ・マニュアルの作成(地域連携の拡大)
- 総合研究所EECの教育への有効活用
- 地域防災拠点化(社会との連携強化)

取組の体制と評価システム



新たな取組・完成イメージ



いのち・つなぐ・ちから

- 災害対応力
- 問題解決能力
- コミュニケーション能力
- 命を繋ぐための社会貢献意識
- 自信獲得と社会への信頼感
 - 安心して学習・学生生活に専念できる環境整備
 - 地域社会との相互信頼感構築・保護者の安心感
 - 地域防災拠点化と国内大学・各機関との連携強化
 - 留学生・協定校を通じた国際的防災システムへの展開

2008年度実施事業

- 発災対応型地震防災訓練 
- 学生-地域連携防災マップ作成
- リーダーズキャンプ(学生団体リーダー)
- 大学後援会-学生支援GP協力WG設置
- 学生自治会・家主説明会
- 大学教育改革フォーラムポスターセッション

など

- ホームページ開設

<http://www.kogakuin.ac.jp/gp/inc.html>

リーダーズキャンプ・自治会説明会



普通救命講習



グループ討論



ポスターセッション



八王子GP説明会

大きな災害発生！リーダーとしてどうする？

後援会学生支援GP協力WG

- 非常時連絡体制検討
- 大学・後援会役割分担
- 後援会本部・支部役割分担
- ボランティア活動への理解
- 個人情報配慮方法研究
- 企業業務継続体制研究など



9